

父子世帯における父親の精神的 不調に関連する要因の分析

Bibha Dhungel

国立成育医療研究センター・政策科学研究部

論文情報 : Dhungel, B., Tsuguhiko, K., Kachi, Y., Ochi, M., Gilmour, S., & Takehara, K. (2021). Prevalence of and associated factors for psychological distress among single fathers in Japan. *Journal of epidemiology*, 10.2188/jea.JE20210273. Advance online publication. <https://doi.org/10.2188/jea.JE20210273>

父子（ひとり親）世帯における父親の精神的不調の割合と関連する要因を明らかにする

- データ：
国民生活基礎調査（2016）

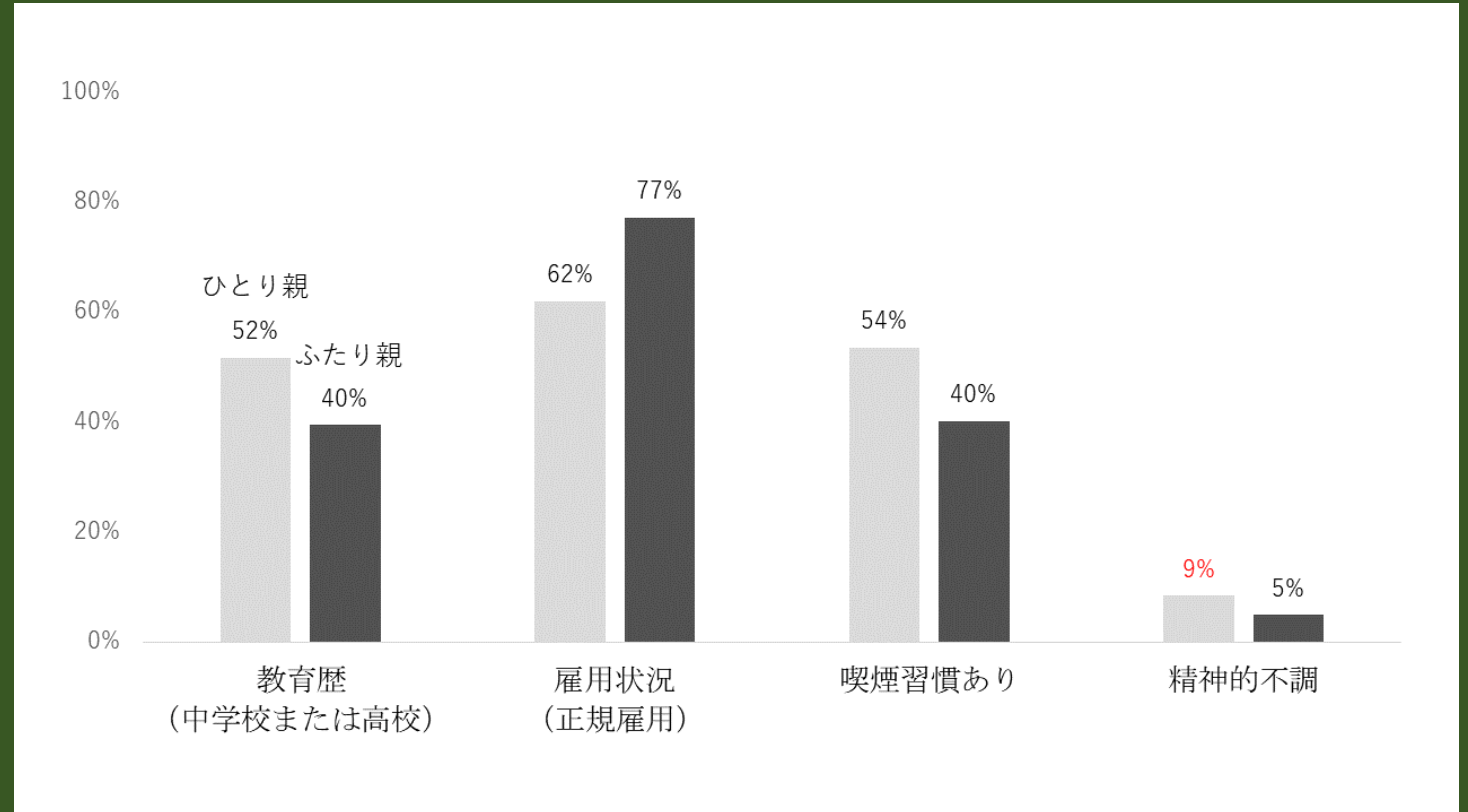
世帯票・健康票

- 分析対象者：父親
868人（ひとり親）
43880人（ふたり親）

- 要因：
年齢、教育歴、雇用の状況、労働時間、喫煙、飲酒、世帯形態等

- アウトカム：精神的不調（K6尺度合計点 \geq 13点）
ひとり親（8.5%）
ふたり親（5.0%）

- 結果：



- 精神的不調の割合は、ふたり親世帯の父親と比較して、ひとり親（父子）世帯の父親で高かった。
- ひとり親世帯の父親の公的支援の必要性が示唆された。

自己紹介

連絡先

ご質問等ある方は、

下記のメールアドレスまでお問い合わせください。

fmc@ncchd.go.jp